

まちの元気じるし登場 ～企業訪問 サンダース海美～ (頸城商工会)

今回は、上越市頸城区の住宅街の一角に、オーナーである海老真紀子さんの自宅に隣接したサロン(店舗)を持つ「サンダース海美」を訪ねてきました。

憧れのお店

サンダース海美のサロン(店舗)は、1階は化粧品等の販売スペースと事務所があり、2階はお客様が集ってお茶が飲めるような寛げるスペースです。取り扱っているサンダース・ペリー化粧品の故郷であるイギリスのアンティーク調で統一された、かわいらしい、まるで雑貨店やカフェのような空間は、お店をやりたいと夢見た女性ならどんなに憧れることでしょうか。店内の家具や雑貨、商品のディスプレイ、手作りの案内チラシを見ても、海老さんのセンスの良さと、仕事への愛着が伝わってきます。

思いがけない天職との出会い

海老さんは、学校卒業後、首都圏に2年程いた後に、地元上越市にUターンして事務職として勤めていました。そんなある時、お母さんの知人を通じてサンダース・ペリーの化粧品に出会いました。当初はそれほど興味もありませんでしたが、お母様やお友達が次々ファンになっていくのを見て、自分も使い始めてファンになり、事務職の傍ら副業としてスタートしました。

お客様が、きれいになって喜んでくれる姿を目にすることがとにかく嬉しくて、どんどんのめり込み、12年前に勤め先を辞めて本格的に取り組みました。子どもが生まれた時も、生後6カ月の頃には両親に預けて、様々な研修に出かけたといいます。その頃、本人が打ち込むのとは裏腹に、ご主人をはじめ、ご実家の両親も含めて、家族はみんな反対したそうです。

みんなの応援でできたサロン(店舗)

それでも海老さん本人はやめる気持ちにはならず、続けているとお客様が徐々に増えていきました。そして、いつしか自分のお店を持ちたいと思うようになりました。上越市中心部に物件を探しましたが、思うような物件が見つかりません。そんな時、仕事に反対していたはずのご主人が「それなら、家でやればいい」と言ったそうです。いつの間にか、応援してくれていたのです。

しかし、土地はあっても建物を建てるには資金が必要です。誰にも相談できずに困っているときに、10年来、記帳担当をしている職員を通じて商工会に話をしました。商工会から無担保・無保証人の融資制度を紹介され、4年前にサロン(店舗)をオープンすることができました。

お茶を飲みながらリラックスしてもらえる空間ができて満足しているそうです。自宅に隣接しているので、高校生になった長男と小学校5年生の長女が学校から帰ってくる様子も眺められます。

一人でも多くの人に

海老さんの明るくて気さくな人柄、誰からも親しまれる性格もあって、お客様は赤ちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃんと幅広い層です。植物原料と天然精油(アロマ)を使用して肌に負担をかけない安心で安全な手づくり商品なので、ご家族みんなで使っています。

「サンダース・ペリー化粧品を、一人でも多くの人に知ってもらいたい。そして気に入った方に使ってほしい。」という想いから、楽しく集える企画を定期的で開催しています。スキンケア(お肌のお手入れ)やメイク(化粧)はもちろん、近頃では、お顔のリフトアップにも効果があるという頭皮マッサージや、お口のケア、紫外線対策などについて開催しています。あれこれと頭を悩ませながら、手書きの案内づくりに余念がありません。そんな海老さんを、周囲の人が応援しています。



海老真紀子さん



【お問い合わせ】 サンダース海美

〒942-0139

上越市頸城区美しが丘 1136-58

TEL 025-520-2951 / FAX 025-520-2951